

# 医療費の改革 最優先

懇話会  
政西  
宮崎  
湯見  
宮見

小黒さん(法政大教授)訴え

宮崎政経懇話会(宮崎日日新聞社、宮日文化情報センター)主催の第193回児湯・西都地区例会は20日、高鍋町のホテル泉屋であった。法政大経済学部教授の小黒一正さん(47)が「コロナ禍でのマクロ経済・財政を巡る課題―改革の視点と地方への影響は―」と題して講演した。

【講演要旨】  
コロナ禍で飲食業などが影響を受けているが、日本経済全体をみると、最初の緊急事態宣言の影響が出た

だが革新的な医薬品に予算を回すことができない。  
【出席者】(順不同、敬称略) 春成勇(宿建工業) 神田直人(木城町議会議長) 甲斐隆信(高鍋信用金庫専務理事) 島笠内遵(高鍋町副町長) 木戸秀雄(ホテル泉屋社長) 横山道徳(宮崎銀行西都支店長) 木浦豊英(木浦精米所代表社員) 河野浩一(川南町議会議長) 山西三重子(山西商事社長) 半渡英俊(木城町長) 谷口良孝(JA児湯組合長) 新田浩一郎(宮崎県農協果汁常務) 新倉好雄(川南町総務課長) 宮原浩幸(隆徳会鶴田病院秘書室長兼人事部長) 岩本正志(増田工務店取締役) 後藤正弘(高鍋町議会議長) 長 永友繁(新富町議会議長) 林賢治(高鍋商工会議所中小企業相談所係長) 長生一(石井十次顕彰会副理事長) 松浦好子(県児湯農林振興局長) 日高則行(大林

が革新的な医薬品に予算を回すことができない。

【出席者】(順不同、敬称略)

昨年4〜6月が底でその後は急回復。3回目の宣言が出てその方向は変わらないだろう。  
コロナ対策で国の歳出は過去にない規模となり、国債発行額も増えた。綱渡りの資金繰りが続くが、本年度予算の一般歳出からコロナ対策予備費を除けば、引き締まった財政運営をしていることが分かる。  
今後取り組むべき改革の一つに医療費がある。薬剤費のスリム化などを行うことで、ワクチン開発や高額



コロナ禍の経済・財政への影響などを解説する小黒一正さん=19日午後、都城市・ホテル中山荘

## 能動的支援へ再分配強化

懇話会  
政西  
宮崎  
湯見  
宮見

小黒さん(法政大教授)強調

宮崎政経懇話会(宮崎日日新聞社、宮日文化情報センター)主催の第380回霧島地区例会は19日、都城市のホテル中山荘であった。法政大経済学部教授の小黒一正さん(47)が「コロナ禍でのマクロ経済・財政を巡る課題―改革の視点と地方への影響は―」と題して講演した。

小黒さんは、新型コロナウイルス感染症拡大にまつわる経済指標を示し、「非製造業の生産低下が顕著で、

【出席者】(順不同、敬称略) 外山貴之(外山木材営業部主任) 木場智彦(木場組社長) 黒木兼一郎(黒木兼一郎税理士事務所長) 桐野恭一(宮崎第一信用金庫都城営業部長) 新井克美(テミス総合支援センター理事) 江賢啓人(ヤマエ食品工業常務) 後藤雅彰(宮崎銀行都城営業部執行役員営業部長) 今塩屋博子(高原町総合政策課企画政策係長) 久保俊彦(都城グリーンホテル支配人) 黒木誠明(宮崎太陽銀行都城支店長) 西村尚彦(三股町副町長) 枇杷利政(吉原建設常務) 木崎大介(BTV常務) 有村義昭(南日本酪農協同社長) 外村正司(都城ヤクルト販売総務課長) 千町泰希(ホテル中山荘支配人) 折田健太郎(都城市商工観光部長) 永友秀和(都城宮日サービスセンター社長) 湯田光(宮崎日日新聞社都城支社長)

国が進めようとしているデジタル政府の目的を巡っては、「申請ではなく、国が困っている人を能動的に支援するプッシュ型行政など再分配機能の強化が最も重要」と強調した。